

舞の里だより

毎月第3土曜発行 1993年創刊 第316号

住所: 〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町1764 舞岡公園「小谷戸の里」 TEL/FAX 045(824)0107
公式ホームページ URL <http://maioka-koyato.jp/> 休館日: 第一・三月曜日 (祝日の場合は翌日)

早すぎる梅雨明けに大慌てでニイニイゼミが鳴き始め、ヤマユリは少しずつですが咲き始めました。本格的な夏を早々に迎え、生きものたちも少々戸惑っているようです。暑い中ですが、飲み物を持って散策にいらしてください。

かかし 「案山子まつり」の案山子を作しましょう

世界にひとつだけの案山子を、自然に還る素材だけを使って作ってみませんか？登録ボランティアのみなさんはもちろん、どなたでも大歓迎です。完成した案山子は田んぼの畦に立て、スズメたちからお米を守る番人として活躍してもらいましょう！案山子の人気投票も行い、1から3位には賞品を進呈します♪参加賞もありますよ！

申込期間 7月23日(土)から9月11日(日)

製作期間 8月6日(土)から9月11日(日) 各日9時から17時

人気投票 9月17日(土)から10月16日(日) 案山子の見学はこの期間にどうぞ！

その他 材料・大きさ等にルールがありますので、お申込みの際にお渡しする「参加の手引き」でご確認ください。

詳細は「小谷戸の里」へお問い合わせ下さい。

わら細工 ぞうり わら草履作り

無農薬栽培をしたもち米の「わら」で、わら草履を作しましょう。草履作りに使うのはご自分の足。芯になる縄を足指に引っかけて編み込んでいきます。さあ、ご自慢の一足を作ってみましょう。

日時 8月21日(日) 9時30分集合 13時まで 集合場所 小谷戸の里

定員 先着20人 小学生以下保護者同伴

参加費 800円 (一足分)

申込 7月26日(火)9時~電話または直接小谷戸の里へ

持ち物 飲み物・帽子・マスク(必要な方は昼食)

服装 ズボン(スカートは不向き)・汚れてもよい服装で

早朝草刈り大作戦

早朝の雑木林で草刈りをしましょう。下草刈りは、豊かな雑木林を維持していくためには欠かせない作業です。初めての方も大歓迎！涼しい時間帯に鳥の声を聞きながらひと汗流しませんか？

日時 7月31日 8月7日 14日 21日 28日の各日曜日 7時集合 9時まで

集合場所 小谷戸の里 小雨決行

持ち物 飲み物 帽子 作業用手袋 マスク タオル

服装 できるだけ白っぽい色の長袖 長ズボン

白っぽい色はハチ対策。長袖や長ズボンは虫よけ・日よけになります
虫よけスプレー等が必要な方はご用意ください。蚊取り線香の貸出はあります

警報発令時の事業について

横浜市に警報(気象庁発表の大雨・暴風・暴風雪・大雪などの警報)が出た場合は、事業(田んぼ、畑、雑木林、イベント等)はすべて中止となります。

午前の事業…午前7時の時点

午後の事業…午前10時の時点

【注意】事業中止についての個別連絡はありません。ご自身で気象警報を確認の上、ご判断ください。よろしく願いいたします。

イベントのご案内

イベント共通事項

事前申し込み 小学生以下は保護者同伴

参加費は記載がないものは無料 特に記載がなければ小谷戸の里集合

自然観察会 夏の里山

日時 8月28日 日曜日 13時集合 15時まで 雨天中止

定員 先着10人（一回の申込につき3人まで）

申込 8月11日 木曜日 祝日 9時から電話か直接小谷戸の里へ

持ち物 飲み物、帽子、マスク

竹細工 竹ひごの花器作り

日時 9月25日 日曜日 9時30分集合 12時まで

定員 先着20人（中学生以上対象）

参加費 500円

申込 9月3日 土曜日 9時から電話か直接小谷戸の里へ

持ち物 飲み物、帽子、マスク 汚れてもよい服装で

稲刈り体験

5月に「田植え体験」をした田んぼで稲刈りをします！

日時 10月2日 日曜日 13時集合 15時まで 雨天中止

定員 120人 抽選 小学生以下保護者同伴 3歳以上対象

参加費 中学生以上300円、小学生200円、未就学児無料

申込 はがき、またはホームページ(注1)で受付します。

代表者住所、電話番号、参加者全員の氏名、年齢、学年を記入して「稲刈り体験係」へ。

はがき一枚、またはHPでの申し込みにつき1組5人まで。9月21日(水)17時必着。

(注1) 9月3日(土)から9月21日(水)まで応募フォームを開きます。舞岡公園公式ホームページ

(URL <http://maioka-koyato.jp/>)のトップページ掲載の「稲刈り体験申込み」をクリック。

応募フォームに必要な事項を入力してください。

生きもの語り 第94回 「草とりと生きものたちのこと」の巻

草虫暦 小暑 鷹の雛が巣立ち、桐の花が咲く頃

いち早く梅雨が明け、暑さが増す季節です。セミの大合唱が響きわたる谷戸です。緑の田んぼの上を吹き抜ける風に一時の涼を感じます。

田んぼは出穂前の草とりの作業です。休耕田の田んぼは、草の森のようになっています。通常の田んぼもいわゆる湿地ですが、稲が育つ場として人の手によって管理されています。休耕田は人の手をあまり入れずに自然に委ねながら植物や生き物の多様性を思う場です。昔の田んぼでは棚田の中で休耕田を順繰りに作っていたそうです。(同じく不耕起冬期湛水田も田植えは通常のように行いますが、耕さず微生物の働きに委ね、田んぼの中が循環しています)通常田、不耕起田、休耕田。谷戸のなかに多様な田んぼがあることで、それぞれが多くの生き物の棲処となっています。昔の人はそれを感覚として知っていたのではないかなと思います。

とはいえ、休耕田3年目。草の目覚ましい成長の状況に驚きます。田んぼの様子は年を追うごとに変化をとげ、植物相も変わっていきます。その中で遷移がすすみ過ぎると、湿田から乾田に変わっていつてしまうので、人の手を入れているこの夏。

根っこが深く入り込んでいる草をとっている時です。今年はこの田んぼに冬の間にかエルが産卵に来ました。田んぼの中の水みちに複数産んでくれました。その卵があったあたりも草の根が深く入り込んできました。その草をとろうとすると、そこにいるわいるわオタマジャクシ。なんと水の流れが草の繁茂で少なくなり、草の根に入り込んでいるのです。「うげないよう」と困っています。草をオタマジャクシに気をつけながら取って、根っこの水分を切ろうと絞った時、オタマジャクシを巻き込んでしまったこと数回…それに気がついた時のなんと気まずい気持ち。畑で土を掘った時、ミミズを切ってしまった時のようなあのきもち…

以前、水鉢の中にいるオタマジャクシが、大雨でのオーバーフローでどんどん外に流されていくのを見たことがあります。なんで下の方に沈んでおかないの…と、私は思ったのですが、草の根っこに挟まれているオタマジャクシもまた、本当に非力なのです。多くの小さな生き物たちの命が自然の中でこうしたことと向き合いながら生き抜いていくのでしよう。

田んぼの中で見ていると、田んぼに産卵しにくるトンボは、あえて藻のところに来て、しきりに産卵しています。ニホンアマガエルは水中に産卵し、水の中を浮遊し風に流され、稲や田の草にくっついていきます。草や藻をとる、という人の作業も、いいかげんがあって生き物たちの命と繋がっているのです。その塩梅を知ることはとても大切なことのように思います。草の根をとり、水みちが通ったところは水の流れと風の流れが再生され、さっそくその道をトンボがスッと飛んでいきました。泥んこの私のすぐ前にトンボが止まり、こちらを見ていました。

後日、オタマジャクシたちはメダカのがっこうみたいに、揃って同じところにわんさか。危機を脱することができて、生き物も私もひと安心。

草とりはじっくり田んぼを見ることのできる作業なので、大変な作業といわれますが、私は好きな作業です。生き物たちは、ちゃんと見えています。生き物たちにとって、「良い場処」がそこ此処にある舞岡公園であるように。よく観察し、生き物から学ぶ日々は続きます。

生物環境部会

イベントのようす

七夕飾り 6月29日から7月10日開催

古民家の軒下に裏山の竹を立て、縁側に短冊をご用意しました。例年、七夕飾りの頃は梅雨の真っ只中。今年は早過ぎる梅雨明けのおかげで、たくさんの方が短冊を書いてくださいました。連日の猛暑で葉は少々枯れ気味でしたが、160枚の色とりどりの短冊が飾られて華やかな七夕飾りでした。みなさんの思いが天の川まで届きますように。

短冊より

ピアノがじょうたつしますように

おうちにいるようちゅうが、げんきなくわがたになれますように

活動のご報告

外来植物防除隊

植物は日光を浴びてどんどん成長していきます。特に外来植物は陽の光を求めて周りの植物より少しでも高くなるろうとして目立つ存在になります。

6月4日は大原谷戸池奥のノイバラに囲まれた日当たりの良い一角で、背丈ほどに成長したセイタカアワダチソウの群生地を駆除を行いました。

6月21日は長久保の炭焼小屋の裏斜面の壁際一面に突然現れた大きなオオブタクサの駆除を行いました。ここは冬に手付かずだった斜面の木や葛等の蔦類を刈り取り、日当たりの良い斜面になっていた場所でした。このオオブタクサの大量の種はどこからか飛んできたのでしょうか。それとも眠っていたのでしょうか。

みち草

田んぼ脇で外来植物のニワゼキショウを駆除しました。小さい芽がネザサの間にたくさんかくれていました。長久保では春先に移植した保全種の周りの草取りをしました。とくにキキョウとオミナエシが周りの草に負けず大きく成長していました。

投句箱より

子育てや	^{たのも} 田面かすめし 夏燕	満之丞
紫陽花が	いざなう谷戸の 細い道	岩田信
梅雨空も	心は晴れる 子の笑顔	ササキ江理佳
梅雨休み	^{はえ} 南風吹き抜ける 谷戸の田や	矢地初江
竹やぶに	かやぶきの香 夏の絵巻	田中崇男
古民家で	歴史を感じる 夏の日に	ほさかりつ
^{ねむ} 合歡の花	ピンクが揺れて 風に舞う	矢地竹男
たんざくに	ねがいがたくさん かなうかな	太田優理子
七夕で	ねがいを書こう かなうかな	平鍋杏
風騒ぐ	短冊揺れて 星祭	すみれ

田んぼの作業

6月実施

代かき 5枚 田植え 11枚 草取り・草刈り 33枚
田んぼグループごとに年間計画を立て活動しています

こんごの作業など

下表内の作業は申込み不要ですので、当日直接お越しください。個人および家族の方対象です。ボランティア未登録の方は、小谷戸の里事務所で住所・氏名・電話番号を記入の上ご参加ください。会議等はどなたでも傍聴参加できます。事前に小谷戸の里事務所へお問い合わせ下さい。

作業等について

今号に掲載の作業やイベントは、状況により中止や延期をする場合があります。舞岡公園公式ホームページ (URL <http://maioka-koyato.jp/>) または電話 (TEL045-824-0107) でご参加の前日に実施の有無をご確認ください。

7月

17 (日) 10時から	畑 人参種まき他
10時から	雑木林 炭焼き
21 (木) 10時から	畑 さといも手入れ他
24 (日) 10時から	畑 ポップコーン ネット張り他
12時30分から	畑 定例の話し合い
13時から	雑木林 林の現場確認

- 15時30分から 指導員連絡会
 28(木) 10時から 畑 さつまいも苗床撤去他
 31(日) 7時から 雑木林 早朝草刈り大作戦①
 10時から 畑 大豆手入れ

8月

- 3(水) 10時～ 薪割り
 4(木) 10時～ 畑 人参間引き・草取り他
 7(日) 7時～ 雑木林 早朝草刈り大作戦②
 9時～ 雑木林 定例の話し合い
 10時～ 畑 さつま芋草取り・土寄せ他
 11(木) 10時～ 畑 唐辛子・ねぎ草取り他
 14(日) 7時～ 雑木林 早朝草刈り大作戦③
 10時～ 畑 落花生草取り・土寄せ他
 12時30分～ 田んぼ 定例の話し合い
 17(水) 10時～ 薪割り
 18(木) 10時～ 畑 大根用畑草取り・荒起し他
 21(日) 7時～ 雑木林 早朝草刈り大作戦④
 10時～ 畑 ポップコーン収穫他
 25(木) 10時～ 畑 大蔵大根種まき他
 28(日) 7時～ 雑木林 早朝草刈り大作戦⑤
 10時～ 畑 玉ねぎ苗床作り他
 12時30分～ 畑 定例の話し合い
 15時30分～ 指導員連絡会

8月20日(土) 舞の里だより8月号の発行日です。折り作業にご協力ください

おねがい

舞岡公園は谷戸の地形を活かした横浜の原風景をとどめている公園です。豊かな自然が残されている分、様々な注意が必要となります。ハチなどの危険な生きものや、泥んこ道の穴や窪みぬかるみ(生きものが空けたもの、雨水の流れで出来たもの)その他多くの危険が潜んでいます。自分の身は自分で守りましょう。